

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	実習評価Ⅲ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	実習室ほか
担 当 教 員	学科教員	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
総合臨床実習は、実習施設において対象者への評価、理学療法プログラム作成、理学療法の実施に至るまで、一連の理学療法過程を実践するものである。この講義では、実習の過程で必要になる知識と技能を統合することを目的とする。実習にあたっての心構えや症例記録の方法、模擬症例による評価から理学療法の実施までを包括的に学習する。また、臨床実習後の報告会						
《成績評価の方法と基準》						
講義内でCBT(知識)と客観的臨床能力試験(技能)、講義レポート、実習報告会など総合的な評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
専門基礎科目、専門科目全般の教科書や配布資料						
《授業外における学習方法》						
総合臨床実習に向けての総合的な学習内容となるため、学内講義や評価実習での学習内容を十分に復習して受講すること。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	講義の概要について理解することができる		実習要項	総合臨床実習に向けての総合的な学習内容となるため、学内講義や評価実習での学習内容を十分に復習して受講すること。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(講義の進め方、総合臨床実習に向けての取り組み確認)			
第2～5回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習前知識の不足分野について学ぶことができる。		これまで使用した教科書類	総合臨床実習に向けての総合的な学習内容となるため、学内講義や評価実習での学習内容を十分に復習して受講すること。
		各コマにおける授業予定	CBT:Computer Based Testing 専門基礎分野、専門分野の統合学習			
第6～9回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習での経験を簡潔にまとめ、分かりやすく報告できる 他施設に実習に行った学生の経験値を共有することができる		配布資料	実習経験のまとめ
		各コマにおける授業予定	実習報告会			
第10～15回	演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法を目指す学生において必要な技能、態度の基本能力を身につけることができる		これまで使用した教科書類	OSCEにおける必要な知識や技術について確認しておく
		各コマにおける授業予定	実習後OSCE:客観的臨床能力試験			